

議会での質問（詳細）

■総合審査（岩崎ひろし）

2015/3/18 水曜日

### 横環南線の2020年度完成は無理、土地収用手続きの即時中止、撤回を

岩崎議員：次に、横浜環状南線について、伺っていきます。

国は2020年度完成めざして、土地収用手続きを強権的に進めています。しかし、2020年までといえ、あと5、6年です。完成させるのは、物理的に無理です。

そこで、南線と同じ規模の北線のJRをまたぐ生麦高架橋の工期は何年何か月ですか。

手塚道路局長：北線の鉄道横断箇所における工事は、作業時間が終電から始発までの短時間に限られるほか、横断箇所にはJR東海道線、貨物線や京急線などの鉄道の線路数が多く、同時に国道15号を通行止めにして施行する必要があります。また、北線本線に加え、新生麦出入口、岸谷生麦線を含め、構造が複雑なことから、工事期間は約5年半を予定しております。

岩崎議員：南線には、JRをまたぐ同様の工事が大船駅付近にあります。この工期は何年何か月かかると見込んでいますか。

手塚道路局長：鉄道の横断箇所における作業時間については南線も北線も同様でございますが、南線の横断箇所は北線に比べますと、線路をまたぐ区間の延長が短いことや、構造が北線ほど複雑ではないということで、状況が異なりますので、北線より工期は短くなるというふうを考えております。

岩崎議員:次に、圏央道八王子区間で、軽微な物件の土地収用法適用事例が1件あります。工事開始までに要した時間はどれだけですか。

手塚道路局長:圏央道の八王子ジャンクションから八王子南インターチェンジ区間における土地収用法を適用した事例でございますが、事業日程の告示から採決申請と、明け渡し採決の申し立て、その後の権利取得と明け渡し採決を経て、物件等の撤去までに約2年6か月の期間を要しました。

岩崎議員:大船駅付近のJR越え工事は、少なく見積もっても4、5年かかります。加えて、JRをまたぐ工事はまだ発注さえしていません。さらに、橋を架ける前と後に、付帯工事や用地取得等に時間が必要です。このようにみると、5、6年はゆうに超えてしまいます。

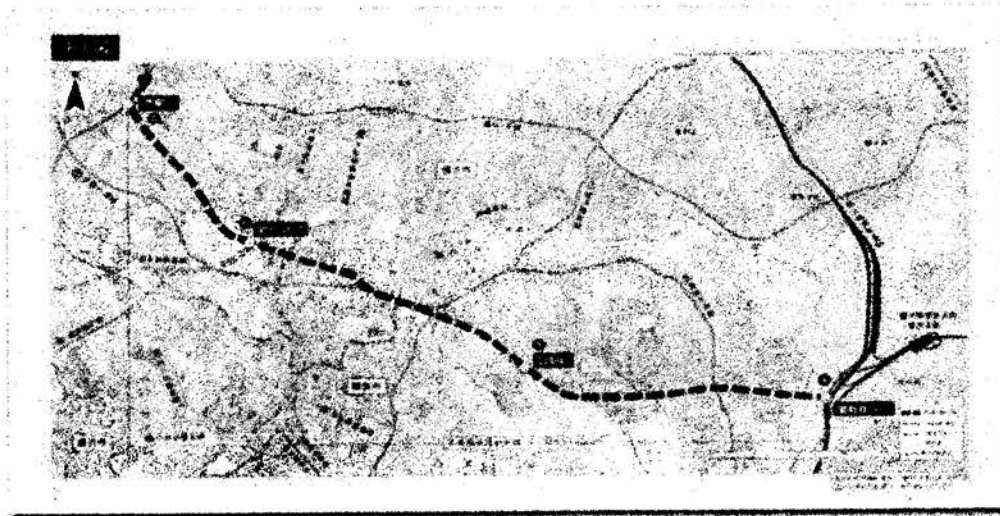
国は、「土地収用法の手続きが速やかに完了する場合」などと奇妙な条件を付けていますが、時間を稼ぐための強権発動であり、暴挙そのものです。土地収用手続きの即時中止、撤回を求めておきます。

#### 市長は地元住民の立場で国に働きかけよ

岩崎議員:次に、地元の運動について伺います。これ(パネル4)は、南線の沿線の図です。ここ、自治会町内会あげて運動があります。どういう運動ですか。

手塚道路局長:沿線の自治会町内会の方々からは、南線の早期整備への期待や環境への影響に対するご心配など、さまざまなご意見はいただいております。南線につきましては、昭和63年の事業化以来、事業の必要性や内容等の説明を重ねるとともに、これまでも地元のみならずからいただいたご意見をできる限り事業に反映させてきました。今後も本格化する工事の進捗に応じて工事説明会等におい

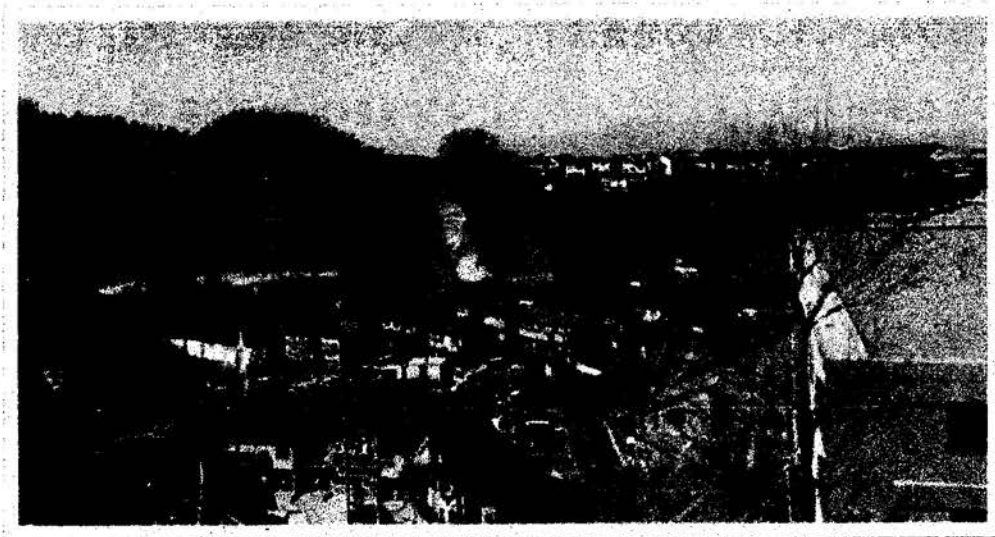
て丁寧に説明を行い、地元のみなさまからいただいたご意見について、できるだけ工事の中で反映させるよう事業者に働きかけております。



岩崎

議員:これは(パネル5)、南線と上郷公田線の二つのトンネルが真下を通ることになっている朝日平和台地域の周辺の写真です。ここで住民が心配していることはなんでしょうか。

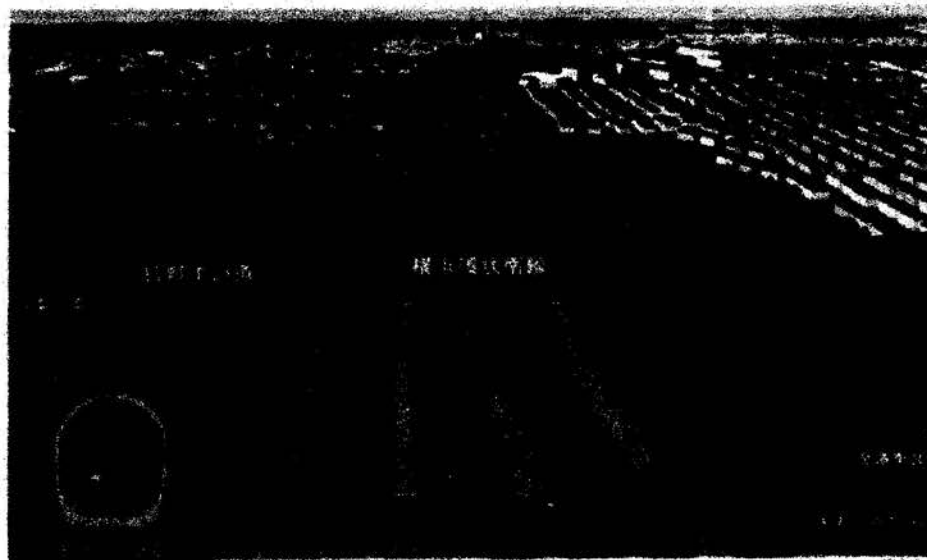
手塚道路局長:ちょうど写真でみて、下に見える部分、池がありますが、その左側の部分については公田インターチェンジができる部分でございます、その公田インターチェンジから左側大きな法面がございますが、その部分の地下を南線本線がいきまして、右側の小さい法面の下を上郷公田線がいくというようなことで、地盤沈下起きないかというようなことだとか、防空壕が昔作ってありましたので、そういったことについての心配を今、されているところです。



岩崎

議員：(パネル6)全部の市会議員に送られたようですが、新たに地元から提起された日野隧道との交差部のリスクというのが出されています。これはどういうことでしょうか。

横浜環状南線(庄戸地区)・日野ずい道俯瞰図



手塚

道路局長：今の日野隧道の前ですが、先生のご質問のその前の質問でございますが、どういうことですかということだったんですが、問題点、言われていることだ

説明をいたしまして、ご理解が得られるように努めてまいりたいというふうに思っております。

岩崎議員：次に、事業者に地元の事態を正しく認識させるというのも、横浜市としてのひとつの仕事じゃないかと思えますし、それから、日野隧道に係わる協議会設置の要望なども出ていますから、こういう問題について、地元住民という立場もちゃんと踏まえて、国に市として働きかける必要があるんじゃないかと思えますけれども、この点、市長、どういうふうにご考えておられますか。

林市長：南線につきましては、国等と連携して説明会等を行っておりますので、地元の状況については国も十分に承知しておられます。横浜市としても、これまで地元のみなさまからいただいたご意見について、できるだけ事業に反映できるように、国に働きかけております。日野隧道に係わるご心配ではありますが、先ほど道路局長がご答弁いたしまして、トンネル施工の専門家による施工技術検討会が事業者よりすでに設置されていますので、施工の安全性は確認してまいります。横浜市としても、こうした施工の安全性の確認について、事業者とともに、地元のみなさまに丁寧にご説明しながら、事業を進めてまいります。先生ご指摘のように、国にもさらに強く意見を申し上げていきたいと思っております。